

財政再建計画 取組状況一覧表

計画目標	主な取組内容
収支均衡した 財政構造の確立	<p>○財源不足を補う基金繰入を行わず、基金に頼らない予算編成を維持 《参考 過去の財源不足分繰入》</p> <p>H29 年度当初予算 財政調整基金 800,000 千円 減債基金 200,000 千円 H30 年度当初予算 土地開発基金 800,000 千円 H31 年度当初予算 なし</p> <p>○ガス事業清算特別会計からの繰入金を活用し、基金積立金を計上 《財政調整基金 766,200 千円、公共施設等維持管理基金 3,284,800 千円》</p>

6つの取組

取組	具体的方策	R2 年度 数値目標	R2 年度予算	主な取組内容
1	事業費の 見直し	事業費一般財源額		<p>○予算編成でシーリングを実施</p> <p>○団体補助金は H31 年度予算と基本的に同額</p>
		134 億 9,500 万円以内	139 億 2,500 万円	
1	繰出金 の縮減	削減額(下水・国保)		<p>○下水道会計 H30 年度比 1 億円減</p> <p>○国民健康保険特別会計 H30 年度比 1 億円減 (計画 5 千万円減)</p> <p>○繰出金全体では、H31 年度比約 300 万円減</p>
		1 億 5,000 万円	2 億円	
2	職員体制の 見直し	職員削減数(全会計 H30 比)		<p>○第 4 次定員適正化計画(改定版)に基づき適正な人員配置を実施</p> <p>【実施済】</p> <p>○職員数の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等級別基準職務表の見直し 主幹(課長補佐) 6 級 から 5 級へ 副理事 8 級から経験等に応じ一部を 7 級へ <p>○等級別職員数の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昇任に必要な在位年数の見直し 副主幹 4 年 ⇒ 5 年 主幹 5 年 ⇒ 4 年 ・厳しい選抜試験の運用見直し 課長補佐昇任時 ⇒ 主幹昇任時に変更
		47 人	47 人	
2	給与体系の 見直し			<p>【実施済】</p> <p>○4 級から 6 級の給料の号給継ぎ足しを廃止</p> <p>○現給保障を廃止(※H31 まで経過措置を実施)</p> <p>○保育業務手当の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月額支給を日額支給に変更

取組	具体的方策	R2 年度 数値目標	R2 年度予算	主な取組内容								
3	施設管理経費 の縮減			<p>○施設再編を進めるため事業費予算を計上 《主な事業費》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修センター機能移転事業 (36,000 千円) ・一乗公民館転用事業 (92,600 千円) ・清水社会福祉センター解体事業 (78,700 千円) ・施設マネジメント推進事業 (26,682 千円) <p>○施設の民営化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷹巣荘 令和 2 年 4 月 ・みらくる亭 令和 2 年度以降 <p>○再編施設の利活用及び地域振興を図るため、財産貸付の減免制度創設を予定(令和 2 年 4 月から)</p> <p>【令和元年度の取組】</p> <p>○素案公表後の意見を反映し、施設マネジメントアクションプラン(第 1 期)を策定予定(令和 2 年 3 月)</p>								
		※事業費一般財源額は、 1 事業費の縮減を含む										
4	投資的経費 の抑制	9 億 1,000 万円以内	8 億 8,800 万円	<p style="text-align: center;">事業費一般財源額</p> <p>○消防庁舎建設事業など、先送りしていた大型公共事業を予算計上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎建設事業 (327,295 千円) ・市立図書館リニューアル事業 (78,179 千円) ・新学校給食センター整備事業 (21,400 千円) ・フットボールセンター整備事業 (35,000 千円) <p>○普通建設事業の事業費は、市街地再開発等支援事業、消防庁舎建設事業等が増となったため増加 事業費増により国県補助金収入も増加</p> <p>《普通建設事業費》 H31 87 億 2,363 万円 ⇒ R2 105 億 1,868 万円</p> <p>《普通建設事業の国県補助金収入》 H31 35 億 9,145 万円 ⇒ R2 44 億 9,559 万円</p>								
5	公債費の縮減	50 億円以内	54 億 6,850 万円	<p style="text-align: center;">市債発行額 (億円)</p> <p>○投資的経費の増により借入目標額を超過 交付税措置のない起債は減少した一方、交付税措置のある有利な起債は増加 令和 2 年度予算の執行管理において、有利な起債を優先するなど、借入額の抑制に努める。</p> <p>《R2 年度市債発行額》</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">一般会計市債発行額</td> <td style="text-align: right;">127 億 5,160 万円 (A)</td> </tr> <tr> <td>うち臨時財政対策債</td> <td style="text-align: right;">43 億 〇 〇 〇 円 (B)</td> </tr> <tr> <td>うち借換債</td> <td style="text-align: right;">29 億 8,310 万円 (C)</td> </tr> <tr> <td>新規借入額 (A-B-C)</td> <td style="text-align: right;">54 億 6,850 万円</td> </tr> </table>	一般会計市債発行額	127 億 5,160 万円 (A)	うち臨時財政対策債	43 億 〇 〇 〇 円 (B)	うち借換債	29 億 8,310 万円 (C)	新規借入額 (A-B-C)	54 億 6,850 万円
一般会計市債発行額	127 億 5,160 万円 (A)											
うち臨時財政対策債	43 億 〇 〇 〇 円 (B)											
うち借換債	29 億 8,310 万円 (C)											
新規借入額 (A-B-C)	54 億 6,850 万円											

取組	具体的方策	R2年度 数値目標	R2年度予算	主な取組内容
6 歳入の確保	市税収入 の確保	市税収納率（現年度課税）		○R2年度現年度収納率を99.4%として、市税収入 予算を計上 ○入湯税について、令和2年10月以降標準税率 （150円/1人1日）への改正を予定 ○市税収入は、法人市民税の減などから 445億2,800万円を計上（H31予算比▲7億円）
		99.4%	99.4%	
	使用料 の見直し	増収見込額（H30比）		○許可業者がクリーンセンターに搬入する一般廃 棄物処理手数料の減免措置を平成30年度で廃止
		3,200万円	2,310万円	
財産収入 の確保	増収見込額（H30比）		○施設再編等に伴う財産売却収入を計上 ・ジュニアグラウンド 570,000千円 ・鷹巣荘 165,468千円 ・その他 23,295千円 ○その他財産売却収入 ・市街地再開発事業関連 377,700千円	
	5億7,400 万円	11億4,046 万円		
その他	増収見込額（H30比）		○ふるさと納税の寄附額について、令和2年度で 4億円を計上 《計画目標額》 R2 1億5,000万円 ○地域の夢を叶える未来づくり創造ファンドなど、 4事業（22,546千円）の財源にクラウドファンデ ィングを充当 ○競輪特別会計からの繰入金 1億5,000万円を計上（H30予算 1億円） 《計画目標額》 R2 1億5,000万円	
	1億6,100 万円	4億3,100 万円		

※具体的方策「事業費の見直し」については、会計年度任用職員制度の導入により、非常勤職員経費（H31までは賃金で物件費）が人件費に計上されることになったことにより、その影響分を差し引いて数値目標を算出している。

※具体的方策「繰出金の縮減」の繰出金前年度比は、企業会計への補助等を含めて算出している。